

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 3 年 6 月 日

作成者：岡部 記代子

地域の課題解決のために行った活動を 1 つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名 ゆめ ばわー きかく	
夢パワー企画	
事業名 心理学応用の公開講座	日時 (期間), 場所
「パレアナ・カフェ」の展開 交流分析の応用として物事を明るく捉え 前向きに生きるための試行提案を語り合う。	令和 2 年 6 月 19 日以降 10 回開催 午後 1 時 30 分～3 時頃 リードあしや
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
1 令和 2 年 6 月 テーマ「参加者近況報告」 会場リード 芦屋 2 令和 2 年 7 月 テーマ「人の話を聴く大切さ」 会場リード 芦屋 3 令和 2 年 8 月 テーマ「思い出を語る」 会場リード 芦屋 4 令和 2 年 9 月 テーマ「自分史概要を語る」 会場リード 芦屋 5 令和 2 年 10 月 テーマ「人間万事塞翁が馬」 会場リード 芦屋 6 令和 2 年 11 月 テーマ「私らしさについて語る」 会場リード 芦屋 7 令和 2 年 12 月 テーマ「人生の春夏秋冬」 会場リード 芦屋 8 令和 3 年 1 月 テーマ「人生脚本への想い」 会場リード 芦屋 9 令和 3 年 2 月 テーマ「人生脚本さらなる展開」 会場リード 芦屋 10 令和 3 年 3 月 テーマ「私の夢を語る」 会場リード 芦屋	(多数) 人 参加者数 (述べ 70) 人
成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
「自分を知る」「相手を知る」「物事を前向きに捉える」という思考の大切さを「語り合い形式」で具体的事例に基づいて試行することによって参加者に共感の兆しが見えている。知的会話の楽しめる憩いの場所としての存在価値をアピールしたい。 社会に直ちに大きな影響を与えるものではないが、一人ひとりの周辺(縁する人)に少しずつでも参考にしたいとの想いの輪が広がっていくことが期待できる。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
「パレアナ・カフェ」の拡大試行 「エレナ・ポーター」が書いた小説に登場する少女(パレアナ)は、自分が出会う人達に亡き父に教えられた「何でも喜ぶ遊び」を伝えます。 どんなに苦しい辛いことでも、どうすれば喜びとしていけるかということをいとも簡単に実行するパレアナに縁した人達は感動の輪として大きく広がっていく物語を現在社会で応用実践する試みを「パレアナ・カフェ」と名付けて取り組んでいます。 興味を持つ人達一人ひとりが「パレアナ」になったつもりで自分の居る場所で「喜びの実現(夢や希望の実現)」に向けて取り組むことにより生きがいある社会を築くことを目指す取組ですが、令和 2 年度度は新型コロナウイルス流行拡大のため外出自粛等の影響で中止せざるを得ない場合もあり、思うような展開に結びつけられなかった。 「明るい話題」を基にした思い付きを夢パワー的实践の試行をしてみました。 次年度は「実際にあった各種の明るいニュースを教材として」交流分析との関連性を深め自己を生かし、「社会活動によりよい影響を与えることのできる人間形成の支援をする」ことを目指します。	